

手賀沼流域

協働調査結果(平成24年度)

湧水

手賀沼流域の各湧水地点で、平成24年度に実施した春季・冬季の湧出量とパックテストによる硝酸性窒素濃度調査結果の平均値をまとめました。

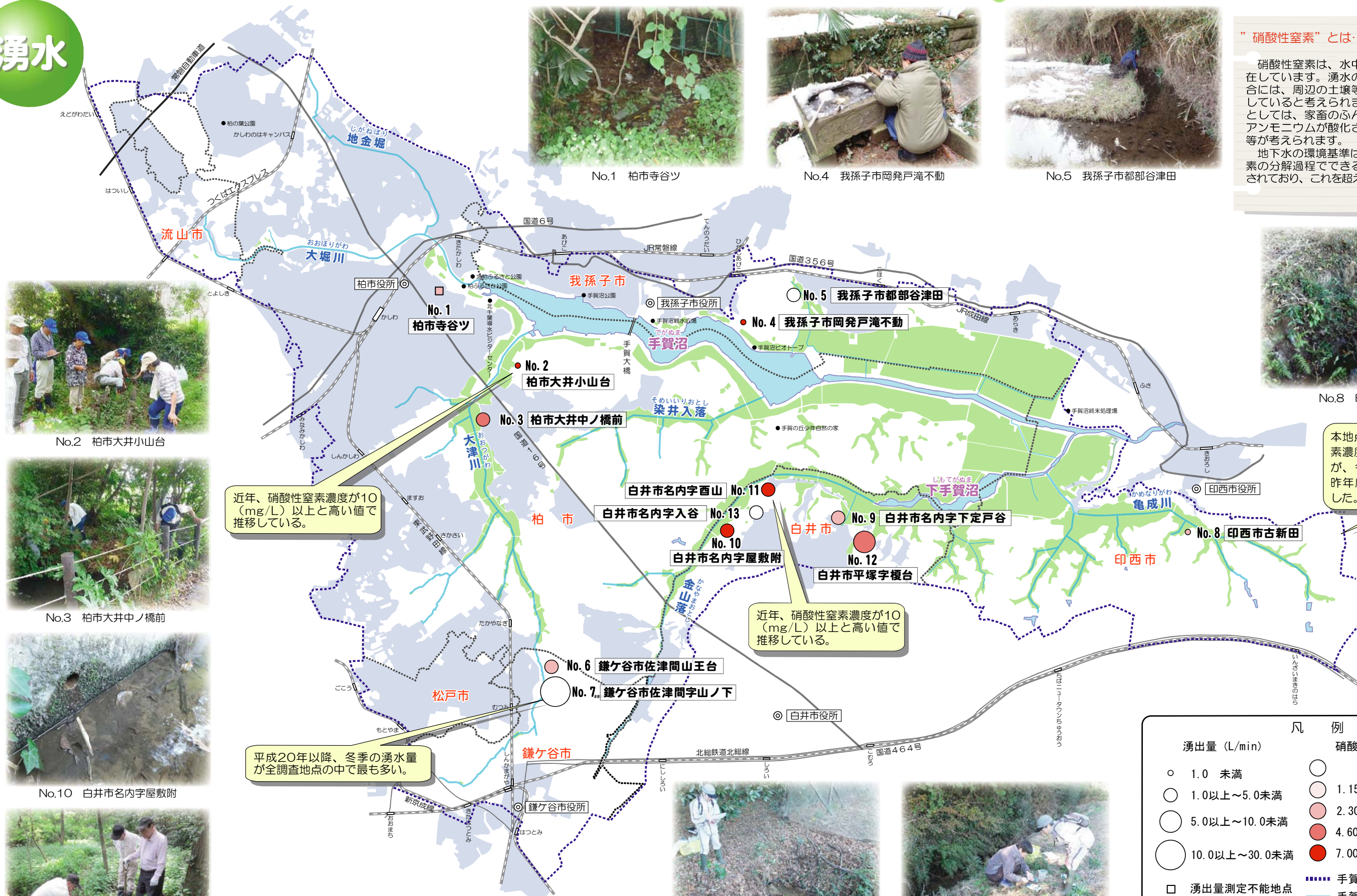
【参加団体】

我孫子市環境レンジャー、印西市環境推進市民会議、大津川をきれいにする会、鎌ヶ谷・大津川を清流にする会、亀成川を愛する会、元市史編纂委員会、沼南手賀沼ボランティア会、白井の自然を考える会、緑水会
※五十音順
柏市、我孫子市、松戸市、印西市、鎌ヶ谷市、白井市、千葉県（事務局:千葉県環境生活部水質保全課）

”硝酸性窒素”とは…

硝酸性窒素は、水中では硝酸イオンとして存在しています。湧水の硝酸性窒素濃度が高い場合には、周辺の土壌等から、硝酸イオンが混入していると考えられます。硝酸イオンの負荷源としては、家畜のふん尿や生活排水に含まれるアンモニウムが酸化されたものや、農地の肥料等が考えられます。

地下水の環境基準は10mg/L以下（硝酸性窒素の分解過程でできる亜硝酸性窒素を含む）とされており、これを超えると好ましくありません。



近年、硝酸性窒素濃度が10 (mg/L) 以上と高い値で推移している。

近年、硝酸性窒素濃度が10 (mg/L) 以上と高い値で推移している。

平成20年以降、冬季の湧水量が全調査地点の中で最も多い。

本地点は、過年度では硝酸性窒素濃度が低い値で推移していたが、今年度の春季は5mg/Lと昨年度同時期の10倍の値を示した。

凡 例	
湧出量 (L/min)	硝酸性窒素 (mg/L)
○ 1.0 未満	○ ~1.15 未満
○ 1.0 以上~5.0 未満	○ 1.15 以上~2.30 未満
○ 5.0 以上~10.0 未満	○ 2.30 以上~4.60 未満
○ 10.0 以上~30.0 未満	○ 4.60 以上~7.00 未満
□ 湧出量測定不能地点	○ 7.00 以上
■ 下水道整備地域 (~H21.3)	●●●● 手賀沼流域界
	— 手賀沼流域水系
	●●●● 市町村界
	■ 水田

もっと知りたい人は…

手賀沼水環境保全協議会

<http://www.tesuikyo.jp/>

作成・発行：手賀沼水環境保全協議会（2013年10月）